

さとしょう

議会だより

No.85
2016.8.1



岡山県 里庄町議会



おいしい流しそうめん(四つ葉の家)

- 平成28年度臨時福祉給付金3000円の支給始まる (2)
- マコモタケに3000万円の投資効果は (補正予算質疑) (4)
- 繰越事業はなぜ発生したか (報告質疑) (7)
- 町政を問う (7人が登壇) (9)
- シリーズ “地域の子どもたち” (16)

定例会

平成28年第2回定例会は、6月6日から10日までの会期で行われました。議案は、平成28年度一般会計補正予算2件、特別会計補正予算1件、条例・規約の一部改正2件、工事請負契約の締結1件、専決処分の承認2件、報告3件、里庄町選挙管理委員及び補充員の選挙、請願1件が上程され、請願以外は、原案どおり可決・承認され、請願は、総務文教委員会での継続審査となりました。

なお、一般質問は、7人の議員が登壇し、町の姿勢や考えを問いただきました。

平成28年度補正予算

一般会計

共通番号制度

システムの導入

1059万円

システム導入の委託および端末機の購入です。

空調機の改修

1181万円

東小学校の給食調理場の空調が故障したため、従来の空調システムから、単独の空調設備に改修します。

「マコモタケ」

ブランド化事業

3000万円

市場調査、成分分析、販路拡大等、「里庄マコモタケ」としてのブランド確立を目指します。地方創生加速化交付金を利用します。

臨時福祉給付金

給付事業

944万円

一人につき3000円支給します。対象者は平成28年度の住民税が非課税の方です。

年金生活者等支援臨時福祉給付金給付事業

632万円

一人につき3万円支給します。支給対象者は、平成28年度臨時福祉給付金の支給対象者のうち、障害基礎年金または遺族基礎年金を受給している人です。但し、高齢者向け臨時福祉給付金の受給者を除きます。

放課後学習サポート事業

18万円

全額県補助の事業で、小・中学校における放課後等の補習学習を行います。

ベッド型マッサージ器の更新

216万円

健康福祉センターにあるマッサージ器故障のため、新しい機器を購入します。

語学指導支援員配置

56万円

東小学校の中国籍児童に対する語学指導および生活支援を行います。

公会堂整備事業

400万円

公会堂修繕等の追加要望に対応します。

特別会計

里庄町介護保険

在宅医療介護連携推進事業費3万8000円。インターネット回線使用料金です。

工事請負契約の締結

1億2832万円

東西小学校、中学校、図書館に、太陽光発電設備および蓄電池設備等を設置する工事です。

承認

額45億4311万円

全ての議案を可決

平成28年度一般会計予算、7604万円の追加補正で、総



マコモ葉の刈り入れ

ここが賛成！

マコモタケ、官のサポートなしでは進まない

岡村咲津紀議員

マコモタケは今スタートしたばかり。

地域おこし、協働のまちづくりは、行政・町民が一致団結しなければ進んでいくことはできない。

民にできることには限界があり、官のサポートなしでは進まない。

耕作放棄地・遊休農地を減らして、次世代に緑を残し、町の活性化につなげていくため、協力すべきである。

6月補正の結果

会 計 名	補正後の金額	(補正額)
一 般 会 計 (第 1 号)	45億3130万円	(6423万円)
一 般 会 計 (第 2 号)	45億4311万円	(1181万円)
計		(7604万円)
介護保険特別会計	9億3771万円	(3万円)

質 疑

▼マコモタケブランド確立の必要性は
▼放課後サポート事業支援員、目的は

平成28年度一般会計補正予算に6人が質
疑しました。

一般会計補正予算（第二号）

3000万円の投資効果は

仁科英議員

①企画費各節の説明欄は、「地域ブランド確立事業関係費」等としか書かれていない。法令で、基準とすべき様式が定められている。内容が分かるように差し換えて、説明すべき。
②このマコモタケ関係費について、3月補正2710万円が不採択になった理由と、今回3000万円に増やす理由は。

③町内外別に、現在の生産者数及び生産面積は。
④生産額について、平成27年度480万円、4年先2000万円目標は、今も変わらないか。町内外別には。
⑤現在出荷している市場。
⑥これまでの町の事業費総支出額は。
⑦市場調査・ブランド構築プラン作成委託料1400万円。

⑧商標登録業務委託料150万円。
⑨成分分析調査150万円。なぜ行政がそこまでするの。
⑩販路拡大戦略作成委託料250万円は、ブランド構築プラン作成委託料とどう違うのか。
⑪視察団受け入れ100

2つは同じ業者か、別の業者か。誰に払うのか。
⑫産業連関表作成委託費350万円。
⑬新商品開発支援補助金100万円は、なぜ、どこに出すのか。
⑭ここで3000万円つぎ込むと、合計5000万円の投資になる。
⑮生産の8〜9割を町外の業者が担っているのに、町は収入が上がり、町民の所得は上がるのか。
⑯環境美化は進むが、公社等を創ってやらないと、町の収入は上がらない。3000万円の効果は。

総務課長 ①（A3判資料一枚を配付）
②マーケティングのニーズ把握後の戦略が不明瞭、政策間連携の工夫がもつと必要等が不採択の理由。
国・県のコメントを基に、官民連携し、関係機関一体となって6次産業化を図れるようにした。
農林建設課参事 ③町内4名32アール、町外2社200アール。
④変わっていない。
28年度は、町内の人176万円、町外業者550万円を計画。
⑤福山、岡山、広島、京都、神戸、大阪、町内の飲食店、町外のスーパーとデパート、健康食品の開発販売会社の順。
⑥農林建設1291万円、企画商工610万円、合計1901万円。
⑦里庄マコモの優位性を実証するため、乾燥した葉と実の成分を、県農業試験場を通じて分析する。
⑧興味を持ったバイヤーに、生産現場の視察・確

認等をしてもらう。
副町長 ①未だ国と申請調整の段階で、全てつくかどうか分からないので、こう表現した。
企画商工課長 ⑦市場調査1000万円、プラン作成400万円。
委託先は未だ考えてない。
⑧イメージキャラクターまこりに関するストラップや加工食品等、5区分程度を想定。
専門家へ依頼する。
⑩具体的な販路を広げるためのプラン。
⑪地域レベルでのお金の流れや産業構造のつながりを見える化し、マコモタケだけでなく、より効果的に産業振興策を打ち出すことに活用する。
⑫顧客や市場が欲しいものを創り出す費用を、制限を加えながら応援する。
町長 ⑪視察団に来てほしい。
⑭里庄マコモで里庄を知ってもらい、興味を持って来てもらう。

条例・規約

一部改正

地方活力向上地域特定業務施設整備計画に伴う固定資産税の特例に関する条例

地方公共団体が行う地方創生プロジェクトに対する企業の寄附についての税制優遇措置、いわゆる企業版ふるさと納税が創設されたことに伴う改正。

岡山県市町村総合事務組合規約

津山圏域東部衛生施設組合及び津山圏域西部衛生施設組合が解散することに伴い、当該組合が脱退することを承認。

専決処分

里庄町税条例等の一部を改正する条例

里庄町税条例におけるわがまち特例の割合を定める規定の改正等。

わがまち特例の改正の内容は、課税標準の特例措置の対象に、太陽光、風力、水力、地熱およびバイオマスの再生可能エネルギー発電設備等の追加等。

里庄町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

課税限度額の引き上げ（医療分52万円↓54万円、後期高齢者支援金分17万円↓19万円）、および低所得者に係る軽減措置の拡充（2割軽減基準の加算額47万円↓48万円等）。

交付金の要件に合う事業がない中で、マコモだけはきちつと要件に合う。27年度から、真空パックにして、一年中製品として出せるようになった。28年度は、それができる業者が2企業あり、いよいよ本格的に販売できる一番重要な年。浅口市、商工会と協力してやれば、地域のメリットだ。

臨時福祉給付金、2つの違いは

仁科英議員

臨時福祉給付金と年金生活者等支援臨時福祉給付金の違いは、

健康福祉課長

9月から受け付け予定の28年度の給付金30000円、障害者遺族年金受給者向けの給付金3万円の他、現在支給している給付金3万円の3種類がある。

3万円を2回受け取ることではないが、28年度の給付金30000円はダブって受け取れる。

マコモタケ、今後のビジョンが全く見えない

岡本議員

①町内のマコモタケの生産高は、非常に少ない。

昨年度で町内の業者が撤退したのは、もうからなかったため。生産部会も、高齢化している。

担い手をどうするか、今後のビジョンが全く見えない。

増産計画を示して欲しい。

例えば、殿迫沖は後何年で米を止めてもらってマコモタケにするとか、どこは耕作放棄地を集約してマコモタケを植えるとか。

地権者という話ができるか。

②ブランド確立の必要性は。

町内の食品会社を使うために里庄マコモタケというブランドが必要という。

うのなら、分かる。

しかし、まずそこが使ってくれるのかどうか。

③利益はどうなるのか。例えば公社を創って拡張するというなら分かるが。

④加速化交付金が不採択になったらどうするのか。止めてしまうのか。

農林建設課参事 ①業者から、600円/kgでの購入の確認が取れた。

反当り約30万円。米の約3倍になるので、町内各所の耕作放棄地で、水の便のいいところから順次進めていきたい。

副町長

①里庄町人口ビジョン・総合戦略の中で、作付面積や認定農業者の目標値等を設定。

②ブランド化により、市場での優位性を保てる。③公社も、状況によって

は考えられるかも知れない。

④どうしても一般財源でやらなければならない部分が出たら、相談する。

町長 ①手の際地区も、マコモタケの対象地区とはしている。

②町内の食品会社2社とは話している。

お菓子屋は、試作品も作ってくれた。大量でない、また1年通してと言われている。

量的に飛躍的に伸ばすのは難しいが、里庄町に合ったところまでは伸ばしていきたい。

また、葉や軸も製品として出していきたい。

なぜマコモタケだけに支援するのか

高田議員 ①マコモタケをつくってくれる企業に圃場を集積する等の費用を、今後も町が負担していく考えがあるのか。

②なぜマコモタケだけに支援をするのか。米作でも野菜づくりでも、同じようにするべきでは。

③今後、申し出のあった人に対して、公平にやってもらえるか。

町長 ①本来なら企業がやるべきだが、小さい田んぼが多いので、支援

していかねばいけません。

費用対効果を考え、ある程度の補助をしながら広めていきたい。

②稲でも野菜でも、支援していきたい。

③荒廃田が増えるので、出来る範囲で支援をしたい。

農林建設課参事 ③補助金には条件があるが、補助金を活用した事業を推奨していきたい。

中学校はなぜ2年生なのか

仁科千議員 放課後サポ

ート事業支援員について、①事業の目的は。

②賃金を町費から払うと、二重支給にならないか。

③開催日時、対象者は。

④サポートの先生だけか、学校の先生も一緒か。

⑤小学校は、各8万2000円に対し、中学校は1万7000円。

これは、県の指定か、町での配分か。

⑥3月の本予算の時にはまだ話がなかったのか。

⑦中学校は、なぜ2年生なのか。

3年生は、部活が終わり、高校に向けて夏から切りかえるはず。

だから、これは3年生ではなかったか。

教委事務局長 ①児童・生徒の学力向上等。

②学校に着任している県費の非常勤講師の賃金だが、基本的には勤務時間

を延長して対応するものなので、既存の事業分とは分けて執行する。

③小学校は、放課後年間21日および夏休みの4日間で、合計25日。各1時間程度の予定。

中学校は、夏休みのみの3日間。

対象は、小学校は、4年生から6年生までので

きるだけ全員。

中学校は、2年生の希望者および先生の呼びかけ等による者。

④小学校は、4年生以上の全教室に対し、全体で2〜3人の支援員。

中学校は、担任と支援員の2名での授業。

⑤県の事業内容の中でい

ろんな割り当てがあり、結果的に差がついた。

⑥事業決定が3月だったため、間に合わなかった。

教育長 ⑦3年生は、入試に向けて頑張っている。

2年生も3年生に向けて頑張つて欲しいということ、2年生に決めた。

全部はできないということ。



ラジオ体操イチ、ニツ、サン！

一般会計補正予算（第二号）

不具合が起きないように設置を

岡本議員 ①東小学校の給食調理場の空調機が壊れた原因は。

②高額な投資であり、使えるものはとことんまで使うべき。

原因を究明し、次に不具合が起きないように設置の仕方を考えるべき。

また、循環式は腐食しやすいのでその対処も必要。

教委事務局長 ①空気を取り込んで調整するためのガスが抜けてしまい、全く機能しなくなった。

15年経過し、経年劣化も考えられる。

報告

②氷蓄熱システム本体からガス漏れを確認した。緊急工事も行ったが、ガス漏れ以外にも不良の箇所、機器の故障があった。

現在のシステムでは、1基がだめになると、その噴き出し口がすべてだめになってしまう。

今回新しく設置するのは、8台それぞれが単体

で冷房する機能を持ったシステムである。

町長 ②15年たっており、いつも1基も壊れるかわからないので、この際2基ともやりかえる。

音楽室の冷暖房空調機・給食棟の防水工事も、クレーン等の関係で同時にし、経費がかからないようにしたい。

運転費の比較はしているか

仁科英議員 ①運転費は、

今までは氷蓄熱機が2割安いという説明だったが、現在では空冷式のほうが安いのか。

それで設備費は高くなるのか。

②運転費は今までいくらだったのか。

比較しているか。

③今後チェックして良い方法を選んでいくことは考えられるのでは。

教育長 ①運転費は十分

検討できていないが、全部故障して困ることがないようにする。

②現状いくら、新たに設置したらいくら、という計算はしていない。

③できるだけお金がかからないよう、全体的なことも考え、調理場という特性も考えながら対応したい。

平成27年度里庄町一般会計 繰越明許費繰越計算書

(総務費)

自治体情報システム 強靱性向上事業

繰越額が1550万円
で、財源内訳は国県支出金が590万円、地方債が920万円、一般財源が40万円。

(農林水産業費)

水路等改修事業

繰越額が1500万円、
全額一般財源。

(土木費)

道路新設改良事業

繰越額は4940万円、
全額一般財源。

企業応援マリッジ サポート事業

繰越額が219万3000円で、全額国県支出金。

河川維持浚渫事業

繰越額が200万円、
全額一般財源。

質疑

繰越し事業の内容は

仁科英議員 ①水路等改修事業の繰越しの内容と理由は。

②河川費と道路橋梁費の繰越し事業の内容と繰越しの理由は。

農林建設課長 ①池田排水路600万円、殿迫水路400万円、塚鉾川100万円、焼山水路400万円。

設計変更および地元調整に不測の日数を要したため。

②河川は、殿迫地区の浚渫工事200万円。

道路新設改良事業の内容は、岩村地区674号線、堂迫、浜南、駅前、大中地区の改良工事で、4940万円。

用地の関係等の交渉過程で遅くなってしまった

のが繰越しの大きい理由。674号線は、9月上旬に完成予定。

県道との共同施工の部分があり、県と調整をしながら、できるだけ早くする。



工事が進む 674号線(岩村)

質疑

議案に対する賛否状況(6月定例会)

○…賛成 ×…反対 退…退席 欠…欠席

議員名		高田卓司	岡本雅道	岡村咲津紀	小野光三	眞野博文	仁科英麿	小野光章	仁科千鶴子	佐藤耕三	議決結果
議案名											
議案第30号	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第31号	専決処分の承認を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
議案第32号	地方活力向上地域特定業務施設整備計画に伴う固定資産税の特例に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第33号	岡山市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び岡山市町村総合事務組合理約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第34号	工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第35号	平成28年度里庄町一般会計補正予算(第1号)	×	○	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
議案第36号	平成28年度里庄町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案第37号	平成28年度里庄町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
報告第1号	平成27年度里庄町一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
報告第2号	平成27年度里庄町公共下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
報告第3号	里庄町土地開発公社の経営状況の報告について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
請願第3号	戦争法(平和安全法)の廃止を求める意見書を、政府に送付する請願書	○	○	○	○	○	○	○	×	×	継続審査

※ 議長は採決に加わりません。(賛否が同数の場合を除く。)

人事

里庄町選挙管理委員及び補充員の選挙

指名推薦で指名は議長に一任。

委員

補充員

中尾 幸好氏
平野 雅久氏
高田 弘康氏
藤原 保氏
齋藤 康則氏
大上 益治氏
岡堂 孝志氏
小野 周三氏

総務文教委員会

委員長報告

岡村委員長

「戦争法(平和安全法)の廃止を求める意見書を、政府に送付する請願書」につきまして、委員会を5月19日に開催し、委員からは、国が決める問題なので不採択、引き続き慎重に議論するべき、請願に賛成する、という意見になり、採決の結果、賛成多数で、閉会中の継続審査とし、審査期間は審査終了までに決まりました。



みんなで仲良く水あそび

一般質問

町政を問う

町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

※原稿は質問者が作成しています。

老朽化が進む福祉会館を今後維持するのか

町長／耐震補強を早いうちに



小野 光三 議員

問

福祉会館は、建設後47年が経過し、町内では一番古い建物で、老朽化がかなり進んでいる。

町の公共施設では、安全で安心して、町民の人たちが利用し続けられるようにする必要がある。今現在福祉会館は、町民の人が多く利用している。南海トラフ地震等が起きた場合、町の公共施設で倒壊の危険がある建物は、老朽化が一番進んでいる福祉会館ではないか。今後維持すべきかどうかを考えるとかが来ているのではないか。

耐震補強工事をして、

維持するのか、解体や撤去して、新しく建てかえるのか、その他の計画があるのか。

総務課長

福祉会館は、教育委員会をはじめとした事務所があり、本来であれば、診断結果を受け、耐震補強工事を実施することがベストであるが、現在まだ施工が出来ていない状況である。

今後、財政状況を勘案し、ほかの事業とのバランスを考慮し、耐震補強工事を実施する。

町長

財政状況を見ながらということ

で、なかなかできないが、町で対応を考えた結果、耐震補強工事をするという結論を出した。費用は、附帯工事等で最終的に5000万円近くかかる。また、工事は早いうちに



耐震工事を待つ福祉会館

在宅介護看取りの推進は

健康福祉課長／他職種と迅速な連携

問

高齢者が愛着のある自宅で過ごしたいというのが高齢者の大きな願望だと言える。住みなれた環境で、できるだけ長く過ごせるように望む人が自宅での看取りもしつかり選択できるように、在宅での医療、介護、看取りを推進していく必要がある。

在宅介護に不可欠なもの、医療やサービスの充実だけではなく、見守りの役も大きい。町は民生委員さん、地域支援サポーターの皆さんや分館で開催されているいきいきサロン等で、高齢者の見守りが行われている。誰もが笑顔で最後を迎えられる体制づくり、在

宅介護に必要な医療、介護、看護など町はどのように捉えているのか。訪問診療等の医療環境整備のための対策は。

健康福祉課長

今年度からは、市町村の介護保険事業の中の地域支援事業で実施することになった。浅口市医師会および浅口市と協力し、事業を実施している。

県の指導のもと、各市町村の医療機関、介護保険事業所および包括支援センターなどで、患者の情報ネットワーク上でやりとりできるような環境が整い、開始に向けた準備をしている。このシステムの利用で、

他職種の連携が迅速かつ的確にでき、日常の支援とともに、在宅での看取りや急変時の対応がより速やかにできるようになる。



岡村咲津紀 議員

問

観桜会の参加者は、アスファルトの上にビニールシートとごさを引いた上に座っている。座るのが苦痛で、参加したくても座ることができないという声を耳にしているが対策は。受付で弁当を受け取り、会場を後にする人が、増えている。主催者としてどう感じているか。分館の要望も聞き入れて、送迎バスの見直しも考えなければならぬ時期ではないのか。

教委事務局長

現在は、会場の椅子を用意している。今後は、椅子の数を増やし、対策をしていきたい。

スマホの利用指導は

教委事務局長／家庭でのルールの徹底

問

スマホや携帯、パソコン等の利用が長いほど、不適切な行為をする傾向が強いと、岡山県教育委員会のアンケート結果が出ている。町内の小・中学校のスマホの利用制限、指導は。

教委事務局長

指導は、各教科、総合的な学習の時間、学級活動、道徳等で、学年に応じて情報モラルの学習を行っている。また、子供や保護者、教職員がスマホやネットについて正しい認識が持てるように、スマホ、携帯の安全教室を行い、講演会を実施している。利用は、保護者が責任を持ち、子供とルールを決め、徹底していくことも不可欠。

桜の花をめながら、アトラクションを楽しみ、弁当を食べ歓談をする会なので、多くの人に最後まで楽しんでもらえる会となるように工夫する。観桜会全てについて見直していきたい。

観桜会座るのが苦痛

教委事務局長／椅子を増やす



材料支給の予算不足!町の考えは

町長／対応を考える

問

①道路、水路等の修繕申請の要望書を出す、数年経っても実施してもらえない。たまりかねて分館施工を計画するが、予算不足で予定分の材料支給が受けられない。
材料支給について町はどのように考えているのか。

②予算不足で材料がないから半分、そして半分など。

分館は業者ではないので、手を広げて待っているわけではない。時期によつては有志で工事が出る出来ないがある。臨機応変に対応してもらいたい、どうか。

③分館で工事をする場合、経験者がいる場合は非常にスムーズに工事が進むが、鋤簾じょれんやスコップだけの人力ではどうにもならない。
機械のリースも対応してもらえるのか。

農林建設課 町長

①修繕工事は、緊急性や地域間のバランスを考慮し、予算の範囲内で実施している。

材料支給は、緊急性にかかわらず、優先的に材料支給をしている。
水路は50万円まで、道路は30万円までの原材料を支給。

町長 ②水路50万円は少ないという気がする。
分館から要望が多くあれば、対応を考えなければいけない。

③案件にもよるが、今後は対応を考えたい。



地元(八ツ的)が行った水路整備

企業誘致の候補地を探し

売り込んでいくべき

町長／現在の立地企業の拡張に協力する考え



仁科 英麿 議員

問

① 3月議会で、町長は、企業誘致は国、県、労働機関等と連携して進めると答えた。

企業誘致は国や県に任せる、という意味にも受けとれる。

しかし、定住促進の根幹は、雇用の場を確保し、所得の向上を図ること。

そのためには、町が中心となり、住民の理解も得て、まず土地利用計画をつくる。規制ではなく、誘導のための絵として。

その中で、企業誘致の候補地を探し、どんな売り込んでいくことが必要不可欠と、私は考える。

② まち・ひと・しごと創生総合戦略にある、農業

の6次産業化および地域ブランドの確立とは、具体的には何を意味し、どのように実現するのか。マコモタケだけではな

い。里庄の一番大きい生産品はなにか。

桃、柿、野菜等の6次産業化は。

町長

① 企業誘致を含めた産業の活性化が不可欠という方針に変わりはないが、企業誘致は、決して容易なことではなく、誘致のためにインフラ等を整備しても、確実に企業が来る保証はない。

現在の立地企業が事業拡張をする場合に、積

極的に協力する考え。

新規立地の相談があった場合にも、できるだけ協力はするが、町が積極的に土地を確保し、企業を呼び込む考えはない。

農林建設課 参事

② 農家が2次産業、3次産業をあわせて行うこと。

国の支援制度がある。ブランド化は、それにより、市場における優位性を発揮できる。

副町長

② まずマコモタケで取り組みたい。

里庄駅、全体としてはどうするか

農林建設課長／今は、駅前広場の整備と駅構内のバリアフリー化だけを考えている

問

里庄駅の駅前広場等整備基本構

想について、

① 作成業務は、何時、誰に委託したか。

基本的なコンセプトは誰が作成するのか。

② 地元意向の反映方法は、

③ 素案は幾つか示すべき。

④ 全体としてはどうするか、南北通り抜け化、橋

上駅、北側広場、駐車場や駐輪場、駅前の全体的開発計画等、せめて漠とした構想でも持つてお

いて、だから今回はこうすると絞っていくべき。

私は、起死回生の手として、超高層の複合ビルをつくるしかもう方法はないかと思っている。

農林建設課長

① 6月1日に、JR西日本コンサルタンツ岡山支社と契約した。

コンセプトは、農林建設課が作成。平面的な回

転場の確保、歩車道の分離などを想定している。

駅前2500㎡への取

りつけ道路、広場の配置およびバリアフリー化計画の作成等を委託した。

② 業者作成の複数案をある程度絞り、関係機関と事前協議した後の素案を、町議、駅周辺の住民、タクシーやバス会社等で委員会を組織するなど、意見を聞く場を設ける。

パブリックコメントも実施したい。

④ 今は、駅前広場の整備と駅構内のバリアフリー化のみを考えている。

意見の検討は重ねたい。超高層複合ビルの建設は、現実的でない。

町長

④ 漠然とした構想は持っているが、ここでは、そこまでは考えてない。

その他の質問

Q 中山峠大原中線のルート変更と早期事業化

Q 229線延伸に伴う旧国道の交通量増加対策



公共施設の試算数値どう考えるか

総務課長／試算することが目的

問

① 公共施設に、今後40年間で193億円が必要だと試算をしている。

この試算は何をもとに誰がしたのか。その数値をどう考えるか。

② 必要なものは残していくべきだが。試算の数値は里庄単独では維持できないと思う。各市町村と連携をしながら、国に対して要求する必要があるのでは。

総務課長

① 平成26年度、当時の総務省の試算ソフトを使い当時の里庄町の公有財産台帳を参考にはじいた。

② 今人口も減っていない。学校の統廃合はない。大きい施設、図書館、総合文化ホール等を大規模改修し、どれぐらいの費用が要るか試算しているのが第一の目的、目標。

国保の広域化

町民にしわ寄せは

町民課長／適正な税の徴収に努める

問

① 2018年から国民健康保険の運営が市町村の運営から都道府県へと変わる。その内容と、県、市町村の役割、運営委員会はどうなるのか。

② 国庫負担を半減させ国保の運営が危機的な状況になった。

将来一般会計からの繰り入れを考えるか。

③ 市町村だからこそできている制度。広域化により給付費の抑制や無理な徴収、また国保料金が上がる等で、町民にしわ寄せはないか。

④ 国保料を審議するのは国保運営委員会だが、町が率先して引き下げの姿勢を示すことが必要ではないか。

⑤ 県も国に対し負担をしてほしいという声がある。

ほかの市町村、また県と一緒に国に対し助成の声を上げることが必要では。

町民課長

① 平成30年度から国民健康保険が都道府県の財政運営の責任主体となる。

市町村が行う事業は現在行っている事業と同様の内容。

運営協議会の基本的な役割は変わらない。今の任期2年が3年に変わる。

② 国保に入っていない方の税金を使い国保の財政を助けることになる。一般財源による法定外の繰り入れを行うことのない運営を考えている。

③ 徴収には、納付が困難な世帯は納税相談を行い、自主納付における分納を基本として対応している。

川の早期浚渫を

農林建設課長／早めの要望を考えている

問

里見川には、草が茂り川底が見えない場所がある。

これからの季節、雨量も増え川の増水が考えられ、周辺の住民からは不安の声もある。

特に湯の池の西、松尾の里見川沿いは、浸水の危険箇所。早期の浚渫が望まれる。里見川以外にも早めに県に対して要望をすべきでは。

農林建設課長

昨今のゲリラ豪雨等、急激な水位上昇も心配。



川中に茂る雑草(里見川)

現地パトロール等で状況を確認し、必要に応じ県に要望する。危険な箇所は早めの要望を考えている。

無理な徴収は行わず、引き続き適正な税の徴収に努めたいと考えている。

④ 保険料率は、基本的に⑤ 国も考えていると思うので、町は待つしかない。

生活支援員の研修は

しているのか

教育長／増やす方向で考えたい



仁科千鶴子 議員

問

①各学校の生活支援員の仕事内容、位置づけは。

②研修はしているのか。夏休み、冬休み等研修を予定すべきでは。

各担任、学校との打ち合わせは。

③中1ギャップ解消の効果は。

④今後も増やしていくのか。近隣を巻き込み補助を出してもらう体制づくりは。

教委事務局 ①学習面や生活面などで教員の補助的な立場。

学習指導の補助、学習生活の規律が確立しない子どもへの対応、簡単な質問、相談、給食の準備

片づけ、食事についての指導、体調不良等への対応である。

全て学校、園長や担任の指導及び監督のもとでの業務となる。

②教育委員会主催で4月と夏休み期間中の計2回研修会を行っている。

また、管理職が中心に様子を確認し、必要に応じて指導や打ち合わせを随時行っている。

④増員は考えていない。

昨年度、小・中連携支援員2名分と中学校の特別支援員1名分が、国の交付金を活用できたが、本年度は補助が全くない。現在、教育長会等で市町村がまとまって補助金の要望をしている。

教育長

②担任、校長、教頭、園長等が指導するのが一番効果的

で適切な指導、援助ができる。研修も増やす方向で考えたい。

③現実、子ども達が相談をしているので助かっている。

学年	4歳児	5歳児			
東 幼	1名	1名			
西 幼	1名	2名			
学年	1年生	2年生	3年生	4年生	特別支援
東 小	2名	1名	1名		3名
学年	1年生	2年生	3年生	全 体	特別支援
西 小	2名	2名	1名	1名	2名
学年	小・中連携	特別支援			
中学校	2名	2名			

現在の生活支援員の配置状況

危険箇所、早急に補強する予定は

農林建設課長／今後も優先順位をつけて対応

問

①新しく防災マップができ、避難場所の確認はできる。

その中の土砂災害危険箇所と津波浸水想定区域に、何か対策は。

②危険場所の情報収集は。

③浜中国地中央公園の給水塔の耐震と、撤去した場合の費用は。

④君賀原団地の擁壁は真つすがだが、大丈夫なのか。

補強した場合は。

⑤今後、危険箇所を早急に補強する予定は。

総務課長

①県が想定した危険箇所を周知している。また、町でも把握し、日常点検のとき確認している。

ホームページ等に掲載し、周知にも務めている。

②分館から報告があり逐次把握している。引き続き分館長を中心に連携を図り、情報収集に努めている。

課長

③平成27年11月による倒壊の心配を受け、12月に塔内の調査を行った。外観は表面にひび割れが見られる箇所があるが、内面はきれいな状態を保っている。高架水槽内は、はりの一部にひび割れが見られる状況だ。

耐震診断は1000万円から1500万円かかる。耐震性は、当時と現在と基準が異なるため、はっきりした回答はできない。

撤去費用は約5000万円かかる。現在の水道経営上、非常に難しい。

農林建設課長

④開発当時の基準で適正に構造している。補強は考えておらず、費用は補強方法によつて大きく違うため算定していない。

⑤岩村の長田池の補強工事をしている。今後も危険箇所については、優先順位をつけて対応する。

高田 卓司 議員



町長が前向きに動かなければ 企業は来ない

町長／説明会・知事との懇談会などと言う

問

町の財政の上で企業誘致は税収アップに大きな役割を占めている。今まで無かった税収があり、雇用の場もできる。

どこの町も本気で考えており、その方向で動いている。

①町長は、今までの企業誘致の質問に対して「浅口市の企業団地にもきてもらい、里庄から働きに行けば良い」と答弁しているかと思えば「企業誘致は必要だ」と言っているが、考えはどうなのか。

②町長が前向きに動かなければ企業は来ない。情報収集に行かなければ、情報が入らない。県へ何回行ったのか。何んなら私でもついて行きま

すよ。

③町長の事務分掌はどうなっているか。

職員を連れて現場廻りをするのは課長の仕事だ。町長としての仕事は他にある。

町長

①今まで答弁した考え方は変わっていない。

笠岡市も企業誘致をするし、浅口市も企業団地をつくっている。

小さな町村が、競争で企業を誘致するより、広域で考えて協力しながら、できることをやっていく。

②県へは行きません。

県庁へ行くよりも、県民局で施策、そういう説明会、知事との懇談会などがあるので、そこで言う。

③私の基本的な考えを言うと、地域の人が国會議員に陳情して地域にいろんなものを持つてくれば良い、ということが原因で日本は借金が増えた。これが現実だ。

これが今までの日本の被害だ。

今後は、無駄な金は余り使えないから、考えてやる必要があると思う。

なぜマコモタケ以外に 使わないのか

総務課長／交付金の採択要件を
全て満たす事業

問

町の特産品にするためにマコモタケ関係に毎年200万円位使ってきた。

国の地方創生加速化交付金制度の申請で3000万円すべてマコモタケ関係に使う予定だ。

①なぜマコモタケ以外に使う企画をしないのか。

②町外の人が作付けして

町外へ売り、儲けるために、町の多額の税金を使うのは、里庄町にどのようなメリットがあるのか。

総務課長 ①3月補正予算に計上して申請したが、不採択となったので、今回再申請ということでマコモタケ関係となった。さまざまな機関



成長しているマコモタケ

の代表者会議で決まった。

里庄マコモタケブランド確立推進事業が、この交付金の事業採択要件の全てを満たす事業であると考えた。

農林建設課 参事

①2つの企業が参入しているが、

一社は里見に店を出しており、もう一社は里見地区へ事業所を出す予定である。

町長

②荒廃田の解消と里庄町の知名度を上げることにより、里庄町認知度を上げるため、必要である。

その他の質問

Q 職階による事務分掌がなぜない
A 限られた職員数で難しい

12人ががんばっています

君賀原子供会

君賀原子供会は、幼稚園生から小学6年生まで、12人で活動しています。今年4月に、笠岡にある吉備焼窯元の水川創壊先生に習い、親子全員で陶芸体験をしてきました。ほとんどの子ども達が陶芸体験は初めてでしたが、コーヒークップやお茶碗、自分の手形入りのお皿などをそれぞれ作り、素晴らしい作品が出来上がりました。

昨年は、分館の方と一緒に公会堂で夏祭りを行いました。ヨーヨーつりやカキ氷、スーパードールすくいやバザー等も行い、地域の方とも触れ合うとても良い機会となりました。子ども達も進んで手伝いをしてくれたり、仲良く遊んだり、夜にはそのまま笠岡の花火

大会を鑑賞しました。

冬には楽しみにしているクリスマス会があります。ケーキにプレゼントにビンゴゲームにと、他にも盛り沢山の内容です。役員は大変ですが、みんなの笑顔の為にがんばります!!

6年生を送る会は、恒例のボーリング大会です。みんな、ストライクを狙って全力で頑張ります。そして最後は6年生に心を込めて一人ひとりにお礼を伝えます。6年生も、みんなへ挨拶をして締めくくります。

君賀原は、子どもの人数は減ってきていますが、これからも親睦を深め、仲良く、楽しく、活動していきたいと思っています。これからもあたたかく見守って下さい。



《第85号》

平成28年8月1日 発行

発行／岡山県 里庄町議会
〒719-0398
岡山県浅口郡里庄町
TEL(0865)64-7217
FAX(0865)64-3618

編集／議会広報編集委員会

E-mail:gikai@town.satosho.okayama.jp

●あとかき

今年の梅雨は、6月19日～24日までの雨量が250mmを超えました(笠岡気象台)。

そのため、浜中南地区では、皿池大池の堤防に決壊の恐れが出て、町政史上初めての避難勧告が発令され、100人前後の方が仁科会館に避難されました。

また、町内全域では、数十箇所土砂が崩れたり、道路が壊れたそうです。

自然の脅威と日頃の備えの大切さを、改めて痛感しました。

(仁科英)

編集委員

委員長: 小野光章 副委員長: 仁科英磨 委員: 仁科千鶴子 委員: 佐藤耕三

